

地球環境を守る かごしま県民運動 推進大会

私たちの日常生活や事業活動において、電気や燃料の消費、自動車の使用、ごみの排出など、身近なところから地球環境の保全のための実践活動に取り組み、かけがえのない地球環境を守り育て、次の世代に引き継いでいきましょう。

- と き 令和元年6月6日(木) 14:00~16:30
- ところ 鹿児島県庁行政庁舎2階講堂
(鹿児島市鴨池新町10番1号)

地球環境を守るかごしま県民運動推進会議

構成団体

県衛生自治団体連合会, 県漁業協同組合連合会, 県子ども会育成連絡協議会, 県商工会議所連合会, 県商工会連合会, 県森林組合連合会, 県生活衛生同業組合連合協議会, 県石油商業組合, 県地域女性団体連絡協議会, 県農業協同組合中央会, 鹿児島都市ガス協議会, (株)山形屋, 九州電力(株)鹿児島支店, (一財)県環境技術協会, (公財)県老人クラブ連合会, (福)県社会福祉協議会, (一社)県銀行協会, (一社)県建設業協会, (公社)県工業倶楽部, (一社)県自動車整備振興会, (公社)県トラック協会, (公社)日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会, 県市長会, 県町村会, 県議会, 県教育委員会, 鹿児島県 他 合計162団体

事務局連絡先

鹿児島県環境林務課地球温暖化対策室 (鹿児島市鴨池新町10-1 TEL: 099-286-2586)
鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター (鹿児島市七ツ島1-1-5 TEL: 099-284-6013)

プログラム

- 開 会 ……………14:00
- 会長（知事）あいさつ ……………14:00～14:05
- 環境保全活動優秀団体等表彰 ……14:05～14:25
 - ・ 今別府産業株式会社
 - ・ We Love 天文館協議会
 - ・ 窪 健一 氏
 - ・ 日本野鳥の会鹿児島
 - ・ 野大野老人クラブ
 - ・ 株式会社南九州ファミリーマート ※五十音順
- 活動事例発表 ……………14:25～14:40
 - ・ 環境保全活動優秀団体表彰受賞者
- 家庭の省エネの得するノウハウ…………14:40～14:50
- 講 演 ……………15:00～16:30
 - 演 題
地球温暖化と私たちの未来
 - 講 師
国立環境研究所地球環境研究センター副センター長
江守 正多 氏
- 閉 会 ……………16:30

講師プロフィール

江守 正多（えもり せいた）氏

1970年神奈川県生まれ。
東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。
1997年より国立環境研究所に勤務。
気候変動リスク評価研究室長を経て、
2018年より副センター長。
専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。
気候変動に関する政府間パネル(IPCC)
第5次・第6次評価報告書主執筆者。



令和元年度環境保全活動優秀団体等表彰受賞者

※五十音順

今別府産業株式会社（鹿児島市）

活動年数：約20年

同社は、平成22年4月から鹿児島県の「かごしま環境パートナーズ協定企業」として、小学生を対象にした環境セミナーの開催やボランティア清掃を行うなど、環境保全をはじめとする地域貢献活動に取り組んでいる。

また、平成8年より太陽光発電システムをはじめとする環境商品の販売・施工を通じたCO₂排出量の削減を図るとともに、平成14年にISO14001を取得し、以降事業所内の省エネ・省資源活動に取り組むなど、環境に配慮した事業活動を展開している。

We Love 天文館協議会（鹿児島市）

活動年数：約8年

商店街の活性化を目的に設立された同協議会では、平成24年3月から、養蜂を通じて天文館地区の魅力発信や地域のネットワークづくりを図る「天文館みつばちプロジェクト」に取り組んでいる。講座やワークショップの開催など、天文館地区の自然環境及び生物多様性の重要性について学び考えるきっかけづくりの場を提供することにより、県民の自然環境保全意識の高揚に貢献している。

窪 健一 氏（志布志市）

活動年数：約24年

平成20年より、環境省の「環境カウンセラー」として活躍。

志布志市内の外来生物の実態調査を実施し、データベース化に取り組んでいるほか、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした駆除活動や講演会等を通じ、外来種対策や生物多様性保全に係る普及啓発に貢献している。また、ゴミの発生抑制を訴えるため、環境写真を活用した本の出版や環境教育に従事するほか、環境写真看板の設置や展覧会の開催等を行っている。

日本野鳥の会鹿児島（鹿児島市）

活動年数：約45年

多年にわたる野鳥の調査・保護活動に加え、県内各地で開催する野鳥の観察会や写真展等を通じて、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力している。

また、鹿児島市の「かごしま環境未来館」と連携した講座を継続して開催しており、環境教育の推進にも注力している。

野大野老人クラブ（南種子町）

活動年数：約40年

同クラブは、会員31名（男性17名、女性14名）で構成。

昭和54年の発足当初から、鉄砲伝来地や種子島宇宙センターといった南種子町の主要観光地へ続く町道沿いに花壇を設置するとともに、集落公民館周辺の美化活動を定期的実施してきており、地域環境の美化に貢献している。

株式会社南九州ファミリーマート（鹿児島市）

活動年数：約20年

創立5周年である平成10年を「環境保全活動元年」として、クリーン&セーブキャンペーン（空き缶拾い、空き缶オブジェコンテスト）を実施した。以降、植樹祭等への参加や緑の募金活動への協力を行っている。

鹿児島県の「包括連携協定締結企業」として、環境配慮商品の開発・販売や、物流に係る低公害化やCO₂排出量低減、地球環境に優しい店舗づくりなど、環境負荷を低減する事業活動を展開している。

地球環境を守るために、私たちにできることから始めましょう！

家庭編

- 1 電気、水、燃料の削減にチャレンジ**
 - 冷房時の室温は28℃(以上)、暖房時の室温は20℃(以下)になるよう努めます。
 - 食卓に積極的に県内産・地元産を取り入れます。
 - 電気製品の購入に当たっては、環境性能の高い製品を選びます。
- 2 車からのCO₂排出量削減にチャレンジ**
 - 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を心がけます。
 - 週1日は、家族でノーマイカーデーに取り組みます。
 - エコドライブを心がけて運転します。
 - 車を購入するときは、環境性能の高い車を選びます。
 - 宅配の再配達防止を心がけ、1回で受け取るようにします。
- 3 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ**
 - 買い物はマイバッグ持参で出掛けます。
 - 簡易包装のものや詰め替えのできる商品を選びます。
 - 環境物品の購入に努めるとともに、廃棄物の発生の抑制、再使用並びに再生利用に努めます。
 - 宴会・会食等においては、「30・10(さんまる・いちまる)運動」の呼びかけを行い、食べきりの実践に努めます。
- 4 川や海的环境保全にチャレンジ**
 - 流し台のゴミは、こまめに取り除きます。
 - 使い古したてんぷら油などは、水に流さず、回収等に協力します。
 - 洗剤や石けん、シャンプーは適量を使用します。
- 5 自然環境の保全にチャレンジ**
 - キャンプや登山など自然と触れ合う際等には、空き缶などのごみを持ち帰ります。
 - 野生生物は採取せず、見て楽しみます。
 - 身の回りの動物や植物などの自然観察を行い、将来の環境について考えます。
 - 豊かな郷土の環境づくりのため、地域活動やボランティアに取り組みます。

事業所編

- 1 電気、水、燃料の削減にチャレンジ**
 - 冷房時の室温は28℃(以上)、暖房時の室温は20℃(以下)になるよう努めます。
 - 職員に対して省エネを呼びかける張り紙を掲示します。
 - 電気代や水道代の年間削減目標を設定します。
 - 環境マネジメントシステム(環境に配慮した事業活動を自主的に進めるための目標を定め、継続的な改善を図る仕組み)の導入に努めます。
- 2 車からのCO₂排出量削減にチャレンジ**
 - 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を心がけます。
 - 週1日は、通勤の際などにノーマイカーデー運動に取り組みます。
 - エコドライブを心がけて運転します。
 - 車を購入するときは、環境性能の高い車を選びます。
- 3 廃棄物の減量化やリサイクルにチャレンジ**
 - 簡易包装のものや詰め替えのできる商品を選びます。
 - コピー用紙の年間削減目標を設定します。
 - 環境物品の購入に努めるとともに、廃棄物の発生の抑制、再使用並びに再生利用に努めます。
 - 宴会・会食等においては、「30・10(さんまる・いちまる)運動」の呼びかけを行い、食べきりの実践に努めます。
- 4 カーボン・オフセットにチャレンジ**
 - どうしても削減できないCO₂排出量については、かごしまエコファンド制度等を活用したカーボン・オフセット(埋め合わせ)に取り組みます。
- 5 自然環境の保全にチャレンジ**
 - 緑化や清掃など、自然環境の保全に係るボランティア活動などに取り組みます。
 - 事業の展開にあたっては、地域固有種や、生物多様性の保全など、環境への影響について配慮します。